

2019年度 講演会のお知らせ

東京西の森歯科衛生士専門学校

同窓会 《アイリス会》

日時： 2019年6月30日（日） 10:00~12:00

会場： フォレストイン昭和館 1F会議場 「テアトロソシエ」

講師： 大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学講座

予防歯科学 教授 天野 敦雄 先生



演題： 「できる歯科衛生士になる！

“育て・防ぎ・守る”を支えるバイオロジー」

受付開始： 9:30~（同窓生） 、 9:45~（一般）

同窓会総会： 9:45~10:00

会場場所： 〒196-8601 東京都昭島市昭和の森 TEL:042-542-1234

JR青梅線 昭島駅徒歩 15分 *シャトルバス有り



1F 会議場 「テアトロ ソシエ」

各種イベントやセミナーなどに幅広くご利用いただける専用会議場。

クインテッセンス・歯科衛生士の来年1月号から6回の連載が始まります！

皆様のご参加をお待ちしております！！

できる歯科衛生士になる！

「育て・防ぎ・守る」を支えるバイオロジー

大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子免疫制御学講座
予防歯科学・教授 天野敦雄

- ◆ いい歯科衛生士に会えるかどうかは寿命を決めると言われる時代になりました。現代の歯科医療は「削る・詰める・抜く」から「育て・防ぎ・守る」へと重心をシフトしています。「育て・防ぎ・守る」は歯科衛生士の役割です。いい歯科衛生士は「できる歯科衛生士」のことです。「できる」ためには研鑽と努力、そして科学の目をもつことが必要です。
- ◆ 「育て・防ぎ・守る」には「患者も主治医」となって頂く必要があります。そのために、健口はどんな得をもたらすか、健口を守る秘訣、健口を脅かす病気のメカニズム、を患者さんに知って頂く必要があります。
- ◆ 歯周病は感染症です。歯周病予防は小児期から始まります。ポカン口は歯周病への入口。引き締まった口元を育てましょう。
- ◆ バイオフィルムの「バイオ」とは生き物という意味です。バイオフィルムは生きています。その病原性は絶えず変化し、病原性が高まった時に歯周炎が発症します。バイオフィルムを暴れん坊にしない管理法をお話しします。
- ◆ 歯周病と全身疾患の関係を簡単に患者さんに説明出来るようになりましょう。
- ◆ できる衛生士になるために必要な知識をお話させて戴きます。たくさんの歯科衛生士さんにお聞き頂き、明日からの臨床にお役立て頂ければ幸いです。

講演項目

1. 21世紀の歯科医療は「育て・防ぎ・守る」
2. 健口だとどんないいことがあるか
3. あなたは患者さんを主治医に育てていますか？
4. 歯周病を起こすバイオフィルムは小児期から作られ始めている
5. バイオフィルムをおとなしくさせておく管理法

略歴

1984年 大阪大学歯学部 卒業
1992年 ニューヨーク州立大学歯学部 博士研究員
1997年 大阪大学歯学部附属病院 障害者歯科治療部 講師
2000年 大阪大学大学院歯学研究科 口腔生物学分野 教授
2011年 大阪大学大学院歯学研究科 予防歯科学分野 教授
2015年 大阪大学大学院歯学研究科長・歯学部長(2019年3月迄)
現在に至る

参考文献

天野敦雄、歯科衛生士のための 21世紀のペリオドントロジーダイジェスト
クインテッセンス出版